

●入試名称 大 学 (問合先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募 集 人 員	出 願 資 格				選 考 方 法		2019年度入試日程			備 考		2018年度入試結果		
				対象課程	出専願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	合否判定評価法、小 論文・面接の内容、 新設、その他	出 (エントリー数)	合 格 者 数	競 争 率
●AC入試 筑波 大学 ★アドミッションセンター TEL(029)853-7385 〒305-8577 湯川県つくば市天王台1-1-1 出願: ネット・郵送	人文・文化	人文	5	全 一 浪 ×				人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材	×	1次=書類審査 2次=面接・口述試験(個別、約30分) ①書類自己推薦書、志願理由書、調査書	8.20 ~ 8.28	<1次> — <2次> 10.1	9.21 10.19	(注)AC入試では志願者の最近2年間、またはそれ以上の長期にわたる継続的な取り組みから「問題解決能力」を評価する (注)第1次選考では、特に自己推薦書、志願理由書を重視する (注)面接・口述試験→主に、出願時に提出された自己推薦書等の内容および志願する学群・学類に必要な学習適応性(学習能力、知識、意欲等)について行う。なお、学群・学類によっては、必要に応じて試験時間を見延長する場合がある	23	5	4.
		比較文化	5					文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的で個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者		30					5	6.	
		日本語・日本文化	3					日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力のある者		9					2	4.	
	生命環境	生物	3					生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的および論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力をそなえた者		19					4	4.	
		生物資源	4					生物資源および関連事項に対して強い興味と問題意識を持ち、自ら問題を発見し解決に取り組む能力と、それを他人に伝え論理的に説明する能力、そして基礎学力と語学力、学習意欲を持つ人材		19					3	6.	
		地球	2					地球環境や地球進化に強い好奇心を持ち、自ら設定したテーマに対して、創造的かつ問題解決志向で取り組む能力を持ち、それを表現する能力のある人材		9					2	4.	
	理工	数学	2					数学に対する強い好奇心を持続的に有しており、独自に課題を設定し解決する能力をそなえた者		3					0	-	
		物理	2					自然科学に対する持続的な強い関心、独自に問題を発見し解決する高い能力、物理学に関する基礎学力、そして物理学への学習意欲をそなえた者		9					0	-	

●入試名称 大 学 (問合先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募 集 人 員	出 願 資 格				選 考 方 法		2019年度入試日程			備 考		2018年度入試結果						
				対 象 課 程	出 願 時 分 の 分 類	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教 科 科 目	小 論 文 ・ 面 接 ・ そ の 他 *提出書類(志願票以外)	出 願 期 間	試 驗 日	合 格 発 表	合否判定評価法、小論文・面接の内容、新設、その他	出 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率				
●AC入試 筑 波 大 学 (統)	理工	化学	2	全	一	浪	×	化学および関連事項に対する強い関心を持ち、独自に問題を発見し、明確な目標のもとに主体的に学習し、問題解決する高い能力をそなえた者 今までの経験、ものに継続的に取り組む態度、数学・物理の基礎学力とその運用力、論理的な文章を作成する能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、ならびに、興味の深さと広さ、積極性、行動力、表現力をそなえた者	×	1次=書類審査 2次=面接・口述試験（個別、約30分） （書類）自己推薦書、志願理由書、運動特技に関する調査書（体育専門学群）、調査書	<1次> — <2次> 10.4	9.21 10.19	(注)AC入試では志願者の最近2年間、またはそれ以上の長期にわたる継続的な取り組みから「問題解決能力」を評価する (注)第1次選考では、特に自己推薦書、志願理由書を重視する (注)面接・口述試験→主に、出願時に提出された自己推薦書等の内容および志願する学群・学類に必要な学習適応性（学習能力、知識、意欲等）について行う。 なお、学群・学類によっては、必要に応じ試験時間を延長する場合がある	4	1	4.0					
		工学システム	8											36	4	9.0					
		情報科学	8											25	4	6.3					
	情報	情報メディア創成	4	全	一	浪	×	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力をそなえた者		8.20 <1次> — <2次> 10.3	9.21 10.19					17	3	5.7			
		知識情報・図書館	5								14			5	2.8						
		情報科学	8								103			15	6.9						
	体育		12	全	一	浪	×	(A)問題解決型=ひとつの運動種目ににおける優れた技能を有し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的にそなえた者 (B)競技力型=抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力をそなえた者		<1次> — <2次> 10.2		9.21 10.19					41	3	13.7		
		芸術	5									41		3	13.7						